



かれら い
 イイスス彼等に謂う、
 なんじら われ い たれ な
 爾等は我を言いて、誰とか為す、
 こた い
 シモンペトル対えて曰えり、
 なんじ い かみ こ
 爾はハリストス、活ける神の子なり

— マトフェイ伝16章15-16節 —



仙台正教会
 教会だより

2019年
 7月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四一〇

TEL(〇二二)二二五二七四四

FAX(〇二二)二四一三〇八〇

http://www.sendai-orthodox.jp

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

7月12日は聖使徒ペトル・パウエル祭である。この日読まれる福音の中で、イイススは遠く人々を離れて、使徒達に向かつて「人々は自分のことを何者だと言っているのか」と尋ね、さらに「あなたがたは私を何者だと思うのか」と問いかけた。

使徒たちは当時の人々がイイススをどのように思っていたかを4つ示した。

「授洗イオアン」は神の人類救済のために旧約の成就として遣わされたが、彼は人々に神の国への入り口となるイイススを受け入れる備えをしたのだった。また「イリヤ」は列王記にある最も偉大な預言者でメシヤの来臨の前に先駆者として到来することが預言された人だった。「イエレミヤ」は旧約の民の危機に現れる救援者、「預言者の一人」というのは、旧約時代の預言者が特別の使命を

もって復活したというものだった。

ここでイイススは「あなたがたは私を何者だと言うのか」と最も重要な問いを使徒達に向って投げかけた。ペトルは「あなたはメシヤ、生ける神の子です」と答えた。イイススの中に命の源を見、神の救贖の業をこの世で遂行するために油注がれた者、すなわちハリストス、来るべき救世主であると信仰告白したのである。イイススはこのように神の啓示により、また神・聖神の働きが臨み信仰を揺るがせない者―この岩に教会を立てることを約束された。

聖使徒ペトルと使徒たちは神の国の執事となつてその戸の開閉をつかさどる権能が与えられ、異邦人の世界にもその戸は広く開かれていくこととなる。聖使徒ペトルとパウエル、一人は苦しみの時主を否んで後悔改め、一人は主の教えに敵して後信じたこの二人。神によって変えられた私たちハリストスティアニンの先駆者たちである。私たちも彼等に倣つて、ハリストスとの交わりに生き、その喜びを多くの人々に伝えて行きたい。(K)

2019年度 仙台ハリストス正教会信徒総会



▲総会で訓示されるセラフィム大主教座下



▲婦人会（永元姉）



▲教会学校（山中姉）



▲聖歌隊（児玉姉）



▲方舟会（木村・山田兄）

6月16日(日)午後、聖神降臨祭聖体礼儀の奉事を終えてから二〇一九(令和元)年度信徒総会が信徒会館4階ホールで開催された。

セラフィム大主教座下は「正教に生きるという感覚を大切にし、日常生活の中でどうあるべきかという視点を持つことが大事である。」と述べられ、総会も単なる会計報告に終わらせず、実のある内容にしてもらいたいと訓示された。児玉神父から昨年の教会の活動と教勢報告があり、また婦人会、方舟会、聖歌隊、教会学校の各部門の責任者からも報告と課題が発表された。

財務関係では定額献金が予算を下回る傾向が数年続いていることから一層の協力が求められた。支出に関して節約の効果も表れた結果となった。また、福島正教会の吸収合併について提案され、全会一致で承認された。次年度は宣教・啓蒙、財務、設備の各プロジェクト活動を推進し、その実現を図って行くことが確認された。

【次年度の活動方針】

1. 参拝領聖者増と参拝困難な方々の支援。
2. 外へ向けた宣教活動の充実。
3. プロジェクト活動の発展と実現。



2019年度教区会議の開催

2019.6.23



▲故ニコライ神父、中川夫妻の永遠の記憶



▲長年の功績が讃えられた星見執事長



▲信徒会館で行われた教区会議

二〇一九(令和元)年度の東日本主教々区「教区会議」は札幌正教会を会場に開催された。6月22日(金)午後一時から信徒会館において教区理事会が開かれ、教団、教区の諸活動について財務関係の報告が行われた。承された。

翌23日(日)は衆聖人の主日聖体礼儀が行われ、続けて昨年震災で亡くなられたイオシフ・ダリヤ中川ご夫妻と6月に急逝された函館正教会管轄の長司祭ニコライ・ドミートリエフ神父様の為にリテイヤを献じ、永遠の安息を祈った。また長年にわたり札幌正教会執事長として奉仕して下さった功績を讃えてイアコフ星見定義兄が大主教座下から表彰され、感謝状と記念品が手渡された。

セラフィム大主教座下は冒頭に「教区の宣教ブロック会議の在り方を見直し、宣教の本質を論じ合い、人との交わりの原点に立ち返って具体的な取り組みを実現して欲しい」と要望された。教団と教区の活動と決算・予算及び次年度計画が討議され、全て了承された。また教団・教区に対して管轄司祭の健康管理を充実徹底することについて提言があった。

函館正教会管轄司祭 長司祭ニコライ・ドミートリエフ神父様のご永眠



函館ハリストス正教会管轄の長司祭ニコライ・ドミートリエフ神父様(59歳)は、6月13日(木)、午後9時52分に冠攣縮性狭心症により函館病院でご永眠された。

6月9日(日)、上磯ハリストス正教会での聖務中に倒れ救急隊よって函館病院に運ばれ、懸命の救命活動が行なわれたが、心肺停止後の昏睡状態から戻ることなく13日、穏やかな眠りのうちに息をひきとられた。

埋葬式は函館ハリストス正教会においてセラフィム大主教座下ご司祷、教区神品及びポドヴォリエのニコライ神父が陪祷して6月18日(火)に執り行われ、函館正教会墓地に土葬された。

神父様は1961年、モスクワ出身。1992年に来日され2001年から教団に奉職。ニコライ堂と神戸正教会を管轄された後、2008年に函館に赴任された。長く教区教務部長、北海道の宣教ブロック長を務められ、また地域と教会の交流に尽力し、2016年には函館正教会復活聖堂100年記念行事を成功させるなど活躍された。神父様の急逝を悼み、永遠の安息をお祈りいたします。



▲棺に聖水と聖油を注がれるセラフィム大主教座下



▲函館正教会墓地にて埋葬



白河正教会だより

白河ハリストス正教会の信徒総会は6月1日(土)に代表役員であるセラフイム大主教座下をお迎えして、晩課後に司祭館にて行われた。管轄の児玉神父と大寺執事長から活動の報告があり、決算並びに予算、次年度の計画や課題等が討議された。会議終了後は、恒例の食事会となり、大主教座下と親しく懇談した。



▲司祭館で行われた信徒総会（白河正教会司祭館）

聖歌隊総会の開催

5月26日(日)聖体礼儀後、会館3階会議室において聖歌隊総会が行われた。昨年度の活動の報告と反省、決算、活動計画、予算という内容で討議された。反省や計画には特に時間を割き、連絡網、練習時間、隊員の獲得、講演会企画、楽譜整理など具体的な項目について話し合った。



2019年度 東日本主教々区主催 東北ブロック
教会学校夏季修養会
in 石巻

今回の修養会は船で網地島へ入り、海水浴場で思いっきり遊びます。ぜひお越しください。
日 期：2019年7月31日(水)～8月1日(木)
宿泊場所：おしか家族旅行村オートキャンプ場
宮城県石巻市旭川浜側クサ1-1
参加費用：おとな6,000円 小とも3,000円(小学生～高校生)
未就学児無料

お申し込みは教会ごとにまとめて石巻教会まで。
石巻ハリストス正教会 電話 FAX : 0225-95-1571
郵便番号・住所 : 986-0827 石巻市千石町4番10号

東北ブロック 教会学校修養会

今年は「おしか家族旅行村オートキャンプ場」で1泊2日で開催されます。きれいな浜で海水浴しませんか？是非親子で参加して下さい。

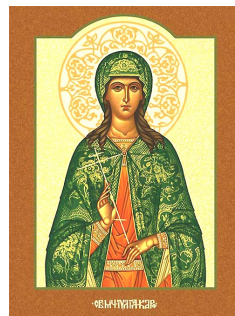
- 日 時 2019年7月31日(水)～8月1日(木)
- 参加費 大人 6000円
小中高生 3000円 未就学児無料
- 申 込 7月18日(火)まで 各教会へ

7月聖名日 モレーベンのご案内 7月14日(日)聖体礼儀後

7月の聖名日モレーベンに該当
する方々の一覧です。
是非ご参拝下さい。



▲聖マリナ



▲聖ユリヤ

聖名日	聖名	氏名(敬称略)
7/12	聖使徒ペトル	太田 秀、笠原弘邦、木村謙太、小松 繁 佐藤周治、佐藤純一、高橋英俊、本多真敏 横山哲也、寺嶋涼華
7/12	聖使徒パウエル	秋保明、岡崎庸裕、片倉 徹、木村憲治 小山俊一
7/17	マルファ(克肖女)	菊池悠夏
7/18	キブリーラ(聖致命女)	横山栄子
7/18	エリザベタ(ロシア大公妃)	寺嶋リイザ、高橋明子
7/19	ルキヤ(ロマの聖致命女)	岡多喜子、片倉とく子、中川八重 佐々木万里子
7/20	フォマ(マレヤの修士克肖者)	沢辺智康
7/24	オリガ(キエフの聖大公女)	小松幸恵、千葉峰子、四津光子
7/26	神使首ガヴリイル	山田 謙
7/27	聖使徒アキラ(70人門徒)	笹川 皓、佐々木明、八文字惣一、横山 昭
7/28	ウラジミル(キエフの聖大公使徒)	大泉 巖
7/29	ユリヤ(カルファゲンの聖致命女)	菊池千絵、佐々木聡子、オウゾン・ジュリヤ
7/30	マリナ(アンティオケアの聖大致命女)	板橋順子、大窪みわ、佐藤安子、高橋理恵 永沢いく子、古田直子、本多弘子 吉田則子、小山涼子



新教会車の納車

6月5日(水)に新しい教会車トヨタプリウスが納車された。安全機能が充実した省エネの車である。皆様方の多大なご協力により教会車献金は160万円を越え、教会一般会計からの支出を極力抑えることが出来た。これから巡回や家庭訪問等、様々な教会活動に活用される。ご協力真に有難うございました。

執事会報告

令和元年 6月9日(日)午後1時～3時

3階会議室

一、報告事項

- ・ 6/5(水) 教会車納車
- ・ 6/7(金) きぼう園家屋基礎成聖式
- ・ 会計報告 一般/収益

二、予定

- ・ 6/12(水) 一般会計監査
- ・ 6/16(日) 仙台正教会信徒総会
- ・ 6/22・23 教区会議(札幌)
- ・ 7/6・7 全国公会

※笹川兄、大立目兄出席予定

三、協議事項

- ・ 年度末決算及び信徒総会に向けて
(収支計算書、予算、役員)
- ※決算予算について承認。総会役員を決めた。

・ 教区会議について

※教区会議の信徒代議員1名を加える。
エウドキヤ熊谷真裕美を選出。

四、その他

・ 来月の日程

7/6(土)、7(日) 全国公会のため仙台での主日奉仕はなし。

7/9(日) 定例執事会 17時

7/14(日) 教会学校、聖名日感謝祈祷

白河巡回

7/21(日) 教会学校、月例パニヒダ
中新田巡回

・ 誦経当番

献金報告(1.5.22～1.6.25)

○聖堂内献金 二十万二千九百十八円

○埋葬献金 五十万円 澤邊範子

○感謝献金

三万円 きぼう園

一万円 澤邊好弘、管原きみ子、岡崎文子

ヨクシモヴィツチ・ラストコ

五千円 櫻井英樹、八文字惣一、高橋紀武

三千円 佐藤慶一

二千円 渡辺久未子、永元亜紀子

千円 松尾直子、岡崎瑠美、高橋ゆり

○会報献金

五千円 星見定義(札幌)

○墓地祈祷献金

二千円 櫻井英樹

○復活大祭献金

六千円 佐藤浩子

二千円 飯塚順子

○パニヒダ献金

三千円 笹川皓、本多弘子

二千円 大立目謙直、高橋紀武

○月例パニヒダ献金 四戸 四千元

※敬称略

消 息



・ ご永眠 6月3日
仙台ハリストス正教会 方舟会会長
フォマ 澤邊 好弘兄(72歳)

永遠の記憶

7月行事・奉事予定

6日(土)、7日(日) 全国公会(東京)

※仙台正教会は、神品教役者全国公会出席のため、主日祈禱は行われません。

9日(火) 定例執事会 17時

11日(木) 祭日徹夜禱 祭日調(17時)

12日(金) 聖使徒ペトル・パウエル祭

聖体礼儀(9時)

書札 コリンフ後 11:21-12:9

福音 マトフェイ 16:13-19

13日(土) 主日徹夜禱 第3調(17時)

14日(日) 第4主日聖体礼儀(10時)

書札 ロマ 6:18-23

福音 マトフェイ 8:5-13

★教会学校

▼聖名日モレーベン

13、14日 児玉神父白河出張

13日(土) 17時 主日徹夜禱

14日(日) 10時 主日聖体礼儀

20日(土) 主日徹夜禱 第4調(17時)
21日(日) 第5主日聖体礼儀(10時)

※この日は聖堂清掃奉仕の日

書札 ロマ 10:1-10

福音 マトフェイ 8:28-9:1

★教会学校

■月例パニヒダ

20、21日 児玉神父中新田出張

20日(土) 18時 前晩禱

21日(日) 10時 聖体礼儀

月例パニヒダ

27日(土) 主日徹夜禱 第5調(17時)

28日(日) 第6主日聖体礼儀(10時)

書札 ロマ 12:6-14

福音 マトフェイ 9:1-8

7/31-8/1日

東北ブロック夏季修養会(石巻)



【教会学校】

・14、21日(日)

【聖歌練習】

- ・13日(土) 晩禱の日
- ・20日(土) 午後2時～
- ・28日(日) 発声練習

【勉強会】

・2、9、16、30日(火) 13:00

【伝道会】

・3、10、17、24日(水) 18:00

— 信徒総会資料と納入袋の送付 —

総会を欠席された方には、先日行われました信徒総会資料をお届けします。また、定額献金袋を同封させていただきましたのでご利用ください。郵便振替を利用する方法もあります。皆様方の協力を宜しくお願いします。

[郵便振替口座]

記号 02270-0-5303

加入者名 仙台ハリストス正教会